【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和2年10月22日(2020.10.22)

【公表番号】特表2019-537487(P2019-537487A)
【公表日】令和1年12月26日(2019.12.26)
【年通号数】公開・登録公報2019-052
【出願番号】特願2019-536346(P2019-536346)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｈ　21/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｈ　21/00

【手続補正書】
【提出日】令和2年9月10日(2020.9.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被検者の消化（ＧＩ）管内における疾患の治療のためのシステムであって、前記システムは、
前記被検者、前記被検者を治療する医師、及び前記被検者の介護人のうちの少なくとも１人から入力を受信するように適合された少なくとも１つの入力モジュールと、
前記被検者についての被検者プロファイルを記憶するように適合されたコンピュータ可読メモリであって、前記被検者プロファイルは、前記少なくとも１つの入力モジュールによって初期入力として受信された被検者データを含む、コンピュータ可読メモリと、
前記消化管における疾患に対して治療された被検者に、及び前記被検者に対して使用された治療手順に関連するデータを含むデータベースと、
第１の治療手順において定義された第１の振動手順を実施するように活性化されるように適合され、動作モードにおいて、前記第１の振動手順に従って前記被検者のＧＩ管の壁に振動を伝達し、それによって前記被検者を治療するように適合された第１の振動摂取可能カプセルと、
第２の治療手順において定義された第２の振動手順を実施するようにプログラム及び活性化されるように適合され、動作モードにおいて、前記第２の振動手順に従って前記被検者のＧＩ管の壁に振動を伝達し、それによって前記被検者を治療するように適合された第２のプログラム可能振動摂取可能カプセルと、
前記少なくとも１つの入力モジュール、前記コンピュータ可読メモリ、及び前記データベースと機能的に関連付けられたプロセッサと、
前記プロセッサに、前記被検者の体から前記第１の振動摂取可能カプセルを排出することに関する情報を提供するように適合された少なくとも１つのセンサと、
を備え、
前記少なくとも１つの入力モジュールは、前記第１の治療手順に従った治療に対する前記被験者の反応に関するフィードバックを受信するように適合され、
前記プロセッサは、前記排出することに関する情報及び前記フィードバックのうちの少なくとも１つに基づいて、
前記データベースに含まれるデータに基づいて、更新され推薦された治療手順についての更新された推薦を自動で取得することであって、前記データは、前記被検者のうちの

少なくとも１人の他の被検者に関連することと、
前記第２の振動手順を実施するべく前記第２のプログラム可能振動摂取可能カプセルのプログラミングに作用することであって、前記第２の治療手順は、前記更新され推薦された治療手順に基づいて前記第２の振動手順を含めることと、
を行うように構成される、システム。
【請求項２】
前記第１の振動摂取可能カプセルは、第１のプログラム可能振動摂取可能カプセルを含み、
前記プロセッサは更に、前記第１の振動手順を実施するように前記第１のプログラム可能振動摂取可能カプセルのプログラミングに作用するように構成される、
請求項１に記載のシステム。
【請求項３】
前記プロセッサは更に、前記第１のプログラム可能振動摂取可能カプセルのプログラミングに作用する前に、
前記被検者データに含まれる少なくとも１つの特質に基づいて、初期の推薦された治療手順についての初期推薦を取得し、
前記初期の推薦された治療手順に基づいて、前記第１の治療手順を生成する、
ように構成される、請求項２に記載のシステム。
【請求項４】
前記プロセッサは更に、
意思決定者に前記更新され推薦された治療手順を提供し、
前記意思決定者から、前記第２の治療手順が前記更新され推薦された治療手順と同一であるべきか否かのインジケーションを受信し、
前記インジケーションが、前記更新され推薦された治療手順に修正が必要とされることを示す場合、前記第２の治療手順を生成するべく、必要とされる修正に従って前記更新され推薦された治療手順を修正する、
ように構成される、請求項１乃至３のいずれか一項に記載のシステム。
【請求項５】
前記システムは、前記プロセッサと、及び少なくとも１つの第２のプログラム可能振動摂取可能カプセルと機能的に関連付けられたカプセル制御ユニットを更に備え、前記カプセル制御ユニットは、前記プロセッサから前記第２の振動手順を受信し、前記第２の振動手順を実施するべく前記第２のプログラム可能振動摂取可能カプセルをプログラムするように適合される、請求項１乃至４のいずれか一項に記載のシステム。
【請求項６】
前記フィードバックは、
前記第１の治療手順に従った治療の間又はその後、前記被検者が排便を経験した時間を示す、前記被検者から受信されたフィードバックと、
前記第１の治療手順に従った治療の間又はその後、前記被検者によって経験された物理的感覚を示す、前記被検者から受信されたフィードバックと、
前記第１の治療手順に従った治療の間又はその後、前記被検者によって排泄された排泄物の少なくとも１つの特質を示す、前記被検者から受信されたフィードバックと、
のうちの少なくとも１つを含む、請求項１乃至５のいずれか一項に記載のシステム。
【請求項７】
前記排出することに関する情報は、
前記第１の振動摂取可能カプセルが前記被検者の体から排出された時間と、
前記第１の振動摂取可能カプセルの識別と、
のうちの少なくとも１つを含む、請求項１乃至６のいずれか一項に記載のシステム。
【請求項８】
前記少なくとも１つのセンサは、便器取付センサを含む、請求項１乃至７のいずれか一項に記載のシステム。

【請求項９】
前記プロセッサは更に、前記第１の治療手順に従った治療に対する前記被検者の反応を反映するべく前記データベースを更新するために、前記被検者データ及び受信されたフィードバックを使用するように構成される、請求項１乃至８のいずれか一項に記載のシステム。